

**2022年開催 第59回**  
**関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会**  
**[新潟大会] 2次案内**

主催 関東甲越地区特別支援学校肢体不自由教育校長会  
関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会

主管校 主 管： 新潟県上越特別支援学校  
〒943-0861 新潟県上越市大和6丁目4番37号  
TEL 025-522-1442  
副主管： 新潟県立東新潟特別支援学校  
〒950-8677 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬994番地  
TEL 025-274-3261  
新潟県立はまぐみ特別支援学校  
〒951-8121 新潟県新潟市水道町1丁目5932番地  
TEL 025-266-7265

後 援 新潟県教育委員会  
上越市教育委員会  
全国特別支援教育肢体不自由教育校長会  
日本教育公務員弘済会新潟支部  
新潟県特別支援学校校長会  
※ 後援については予定

## 大会開催要項

1 大会主題

「新しい時代の肢体不自由教育の推進」  
～ 一人一人の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指して ～

2 期 日 2022年9月26日（月）から10月7日（金）

3 開催方法 Web 開催（大会用HPによる）

4 記念講演および指導講評

<記念講演>

筑波大学 名誉教授 安藤 隆男 氏  
演題「新たな時代における肢体不自由教育」（仮）

<指導講評>

文部科学省初等中等教育局視学官（併）特別支援教育課特別支援教育調査官 菅野 和彦 氏

## 5 分科会

	分科会名	助言者	観 点
1	授業改善 <u>主体的・対話的で深い学び の実現</u>	国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 北川 貴章 氏	「主体的・対話的で深い学び」の視点立った組織改善の推進について、その実現に向けて一人一人の特性に応じた多様で質の高い学びを引き出す工夫を通して、専門性の向上を図る。
2	学習指導Ⅰ（準ずる教育課程） <u>教科等の相互の関連と学び の地図</u>	横浜国立大学 教育学部 教授 徳永 亜希雄 氏	準ずる教育課程を軸として、教科等の内容について「カリキュラム・マネジメント」を通じて相互の関連付けや教科等横断的な指導について考え、系統性や計画性に沿った教育活動の質の向上を図る。
3	学習指導Ⅱ（知的代替の教育課程） <u>どのように学び、何が身に ついたか</u>	筑波大学 人間系 教授 川間 健之介 氏	知的代替の教育課程を軸として、一人一人の学習状況を多角的に評価できるPDCAサイクルを確立し、目指す資質・能力を明確にしながら計画的な指導が行われるよう、教育活動の質の向上を図る。
4	学習指導Ⅲ（自立活動の教育課程） <u>実態把握と目標、内容設定 の関連</u>	日本体育大学 体育学部 教授 長沼 俊夫 氏	自立活動を主とする教育課程を軸として、的確な実態把握を踏まえた学習指導について、心身の調和的発達を促す視点を大切にした教育活動の質の向上を図る。
5	自立活動 <u>発達をどのように支援する か</u>	上越教育大学 発達支援教育実践研究コース 教授 笠原 芳隆 氏	発達の段階を踏まえた自立活動の指導内容の改善・充実を目指し、適切な目標・内容の設定による個別の指導計画等を活用した指導計画と評価に係る専門性に基じた指導力の向上を図る。
6	健康教育 <u>生涯にわたる健康で安全な 生活</u>	NPO法人 地域ケアさぼーと研究所 理事 下川 和洋 氏	医療的ケア及び食育等を含め、健康の維持・増進にかかわる指導体制の工夫や指導の連続性に留意し、児童・生徒のライフステージを見通した健康教育の充実を図る。
7	情報教育・支援機器の活用 <u>支援機器・ICT等を活用し た授業</u>	金沢星稜大学 人間科学部 准教授 新谷 洋介 氏	障害の状態等に応じた効果的な学習指導やコミュニケーション手段としての支援機器やICT活用を促進し、社会で生きていくために必要な力を育むため、学校生活や学習内容の工夫、指導の充実を図る。
8	生活指導・寄宿舎教育 <u>自立と社会参加に向けた指 導の充実</u>	新潟県教育庁義務教育課 特別支援教育推進室長 山田 澄人 氏	肢体不自由教育校における生活指導や寄宿舎指導の実践について、子どもの将来像を見据えた多角的な視点からの指導を目指し、生活力全般を育成する指導の充実を図る。
9	キャリア教育及び進路指導 <u>一人ひとりの発達をつなぐ 視点</u>	秋津療育園 理事長 飯野 順子 氏	個々のキャリア形成と関連付けながら教育課程全体を通じたキャリア教育の推進について、社会との接続を踏まえたキャリア発達の視点を共有し、社会参加や進路選択を支援する指導の充実を図る。
10	地域との連携（センター的機能） <u>コミュニティスクール・イ ンクルーシブ教育の推進</u>	社会福祉法人みんなでききる 障害福祉事業部長 元 厚生労働省障害保健福祉部 専門官 片桐 公彦 氏	地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」の実現に向けた交流や共同学習及び他機関との連携の取り組みや特別支援学校のセンター的機能の取り組みについて理解を深め、社会に開かれた教育課程を实践するチーム学校としての力量の向上を図る。

## 6 ポスター発表

各都県の学校の取り組みや研究成果をPDFにして、Webにて発表を行います。

都県名	発表数	都県名	発表数	都県名	発表数	
東京都	8	千葉県	6	茨城県	2	
埼玉県	6	群馬県	2	山梨県	2	
神奈川県	6	栃木県	2			合計 34

## 7 その他

参加申込、大会参加費及び分担金の納入方法については、別途ご案内します。

- 大会参加費

一校 3,000 円です。

- 関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会分担金

本会の会員校は、分担金を振り込んでいただきます。(規約第6条) 年額 10,000 円 (但し、児童生徒数が 30 人未満の学校は 7,000 円) です。

## 8 問い合わせ先

〈大会事務局〉

新潟県立上越特別支援学校

実行委員長：中静 康弘 (校長)

事務局長：長谷川 徹 (教頭)

〈住 所〉

〒943-0861

新潟県上越市大和6丁目4番37号

TEL：025-522-1442

FAX：025-526-3763